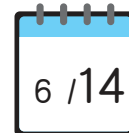


# まちの話題



## 医療・福祉施設に 支援金

町から、町内で医療や福祉施設を営む事業者への支援金の給付が始まりました。この日は、町医療・介護連携推進会議会長を務める帯広徳洲会病院の棟方院長へ小野町長から支援金が渡されました。棟方院長は、「新型コロナの影響で医療機関や介護施設ではマスクなどに出費がかさんでいるので支援金ありがたい」と感謝の気持ちを述べていました。小野町長は「医療・介護従事者の皆さんには本当に感謝している」とねぎらいの言葉を掛けていました。



## おはよう青空市に ご来場を

おはよう青空市が道の駅おとふけでスタートしました。今回は11店舗が出店。野菜などを買求める人で、会場はにぎわいを見せていました。アスパラを出品していた町青空市ふれあい協議会会長の川野実忠さんは「新型コロナウイルスの影響で出遅れたが1回目が晴天に恵まれ、始まって本当に良かった。会場は万全な対策をとって実施しますので、若い人たちにもぜひ来て欲しい」と来場を呼びかけていました。

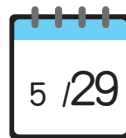




**たくさん食べよう！  
音更産の美味しい食材**



月に1回行われる「おとふけ給食」は、児童生徒に音更産食材の旬を知ってもらい、郷土への関心や理解を深める食育推進の催しで、臨時休校を経て今月から再開しました。今回の食材はナガイモ。火を通したナガイモのほくほくした食感が楽しいミートローフが提供されると、音更中学校では、生徒たちのお皿があっという間に空になっていました。



**「教えない」「渡さない」で  
被害を防止！**



町消費者協会は、消費者月間街頭啓発を行いました。出発式会場のダイイチオーケー店駐車場では、新型コロナウイルスに便乗した詐欺や悪質商法が発生していることを受け、消費生活専門相談員の大淵泰子さんが「特別定額給付金の申請が始まりましたが、公的機関がA T M操作や手数料の振り込みを求めることは絶対にありません」と注意を呼びかけていました。



**町内会会員に消毒液を配布**



木野2区町内会の大浦智会長や役員の皆さんは、新型コロナウイルス感染症予防対策として「町内会会員の健康を守ることに少しでも役に立てば」と中止行事の予算を一部活用し、町内会に加入している123世帯に消毒液(300ml)を配布しました。受け取った黨崎恵美子さんは、「なかなか手に入らないものだからありがたいです」と笑顔で話してくれました。



**水彩画の寄附をいただきました**



町在住の画家である細木利良さんから町へ水彩画の寄附をいただきました。長年、十勝の自然を描いてきた細木さんからいただいたのは「秋の日高山脈」(50号)と「北明より」(20号)の2作品。この日は妻の美恵子さんと来庁し、町長へ目録を手渡しました。今後、この絵画は役場庁舎内に飾られる予定です。